

きすな 2015

上川管内公立小中学校事務職員協議会
発行者 広報担当者 我妻 誠<比布中>
eメール: the.haguki@gmail.com(ザ・ハグキ)
FAX: 0166 (85) 2145
第3号 2015, 10, 29



上川研修センター講座「学校事務実務」開催されました！

しばらく発行が止まっておりました「きすな」です。様々な方面からご心配の声をいただき、心苦しく思います。

前回発行の7月中旬より私たちの環境では様々な行事が行われました。

今回は①7月下旬に開催されました「センター講座」、②「ふらのフォーラム」について、ご紹介をいたします。「今更？」と言わず、同じ話でも2回聞き、3回聞きしていると、聞くごとに新しい発見があるそうです。

今だからこそ、改めて振り返るのも、良いことだと確信しております！



(ええ！決して言い訳
ではありませんとも！)

上川研修センター講座「事務実務」

去る7月30日～31日に行われました。

今年度から開催時期を繰り下げ、夏季休業中の開催となり、沢山の参加者を期待しておりましたところ。

参加は37名(上川25名、旭川12名)と例年より多くの参加者をかかえることとなりました。

参加された皆さん、お疲れさまでした。

また、講師として講義頂きました、菅原さん、そして議論の提言としてこの日のために練り上げてきました、坂本さん・小林さん、ありがとうございました。

日程の詳細は前号でのとおりです。

第1日目に講話「学校事務における今日的課題」として富良野市立山部中学校 菅原さんより改めて北海道の学校事務の歴史をひもとき、そこから見えてくるもの『学校事務のみえる化』について、お話をいただきました。



昼からは教職員事務センターより坪野正和主任による給与事務に関する説明、更に旭川から永山西小学校 高田さんより「学校事務の現状と未来」について旭川の現状を中心に、将来の旭川での事務、そこからの全道での学校事務を考えるお話がありました。

第2日目は上川・旭川それぞれより、提言がありました。

上川からは上富良野町立上富良野中学校 坂本さん、富良野市立富良野小学校 小林さんによる「日常業務をとおしてあらためて人とのつながりを考える」、旭川



からは千代田小学校 荻洲さんによる「旭川の今」と題したそれぞれの特色のある内容でした。

引き続き、午後からは分散会が2つに分かれて行われました。

A・B 2つに分かれ、事前に用意した職員会議での提案文書、及び「自分の机の写真」（準備は任意）について各自持ちより、交流を深めました。



今回のセンター講座を受講した参加者から、感想をいただきましたので、こちらへ掲載いたします。

「学校事務実務」を受講して

占冠村立トナム小中学校 法島賢哉

初めまして、トナム小中学校事務職員、法島賢哉と申します。拙い文ですが、温かい目で見てくださいと思います。

新採用という事で事務職員になって5ヶ月ほど経ちましたが、事務職員という職業、「領域」に対する理解度はまだまだ低いものだと痛感しています。

今回の研修を通じて、事務職員の職務や領域をどのようにみなさんが捉えているのか、また実際の給与事務についてなどを勉強できればと思い参加しました。

菅原さんの講座では事務職員の職務の歴史、現在の職務の理解から何が見えてくるのか、というテーマの中でお話を聞くことが出来ました。私にはまだすべてを理解することは出来ませんが、部分的に理解できた点もありました。

お話の中で、事務職員は情報の入口にいて情報の取捨選択をしていく力が求められる、という点は特に最近自身が悩んでいた点でした。

何が必要なのかという線引きは経験に基づいて判断していく事だと思いますが、経験の浅い私にとってはその線引きというのは難しいと感じていて日々学ばなければい



けないと感じています。

給与事務説明では、各手当のケースについての説明でした。特に4月、5月は事務センターから手当関係の事で毎週電話があり、とても苦戦していました。

そんな経緯もあって手当の説明を受けてイメージはしていますが、実際にそのケースに直面しないと自分のものにならないような気がしています。

最後に、4月から何も分からない状態でスタートした事務職員ですが、本当に前任者の方、近隣の方、そして上川管内の事務職員の方々に助けられて毎日仕事をしています。「何か困ったことあるかい？」と多くの人に気にかけてもらい、本当に感謝してもしきれない気持ちです。これからも子どもを一番に考えながら、どんな事務職員になりたいかを模索し続けたいと思います。

上川教育研修センター講座を受講して

富良野市立東小学校 柳原拓也

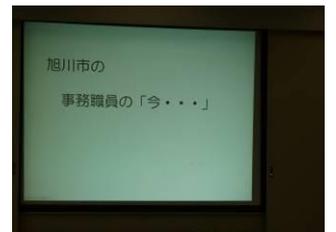
夏真っ盛りの7月30日・31日両日でおこなわれた上川教育研修センター主催の「教育活動の円滑化を図る学校事務実務」講座を受講しました。

この4月の異動で根室管内より赴任したため、上川管内で協議会や教研サークル以外に事務職員の研修活動をおこなっていることに驚きました。

さて、2日間おこなわれた講座ですが、2日目について若干の報告をさせていただきます。

2日目は、旭事協および上事協による提言①・②、昼食休憩をはさみ研究協議の分散会の日程となっていました。

旭事協による提言の中で、旭川市内だけで79校あることに驚いたとともに(ちなみに根室管内全体で46校です・・・)、40歳以上の事務職員が9割を占めていることにもとても驚きました。また、旭川市の学校間連携についての説明もあり、大所帯ならではのやり方やとりくみ方が参考になりました。備品管理や情報共有の在り方など、自治体の規模によってかわるやり方が参考になりました。



上事協の提言は、日常業務をとおしてあらためて人とのつながりを考える内容となっており、「私のネットワーク状況」を各自持ち寄りましたが、あらためて自分の仕事環境や状況を振り返ることができとても良かったです。また、提言の中で、経験年数や勤務年数、学校環境などによってもネットワーク状況のグラフが変わることから、その時々で形が変わっていいのではとのアドバイスもいただきました。

昼食休憩後の研究協議では、2グループに分かれての分散会となりました。研究協議は、各自持ち寄った「自分の机と引き出し」「書棚（書庫）」の写真の説明と、直近で事務職員として提案した内容についての説明をおこないました。各自の個性が活きている机上に感心するとともに、わかりやすい提案に努めていることを積極的に見習わなければと気持ちを新たにしました。

また、若い事務職員からの悩みや疑問、先輩事務職員の視点やアドバイスなど、自分自身の刺激になる内容でした。

一人職種だからこそ人とのつながりを大切に、連携して仕事をしていくことの必要性を感じ取れた研修講座でした。

準備や運営にあたった上事協・旭事協役員のみなさん、ありがとうございました。

 法島さん、柳原さん、素晴らしいレポートをありがとうございました。

また、当日ご参加されました皆様、お疲れさまでした。今回の講座は、かなり、周りからの発言も多く、より私たちのおかれている環境について、身に感じるが多かった講座でした。



みなさん、ありがとうございました！



時期が前後しますが、去る7月27日（月）に札幌市ホテルユニオンにて「ふらのフォーラム 2015 in 札幌」が開催されました。

2011年よりスタートし、今年で5年目を迎えています。

今年の参加者は78名で熱気に包まれ、盛大に開催を迎えることとなりました。

午前は上事協中央ブロックよりレポートの発表、午後には日本大学文理学部 准教授、末富 芳氏による講義、パネルディスカッションという日程でした。

こちらセンター講座同様、参加された会員からの感想をいただきましたので掲載いたします。

 ふらのフォーラムに参加して
 富良野市立山部小学校 神田 和磨

7月27日に札幌で開催されました、ふらのフォーラムに参加させて頂きました。1日日程のフォーラムは3部構成になっていて、第1部は上川中央ブロックの方々のレポート、第2部では、日本大学教授 末富先生の講演を聞いてきました。第3部では、上川のレポートを発表された方3名と末富先生、名達さん、久保さんがパネリストになり、常陸さん司会のパネルディスカッションを聞いてきました。

中央ブロックさんのレポートでは、「取り組みの定型化」、「自治体の枠を超えた交流」が進められていることが示されていました。私も毎日、上事協Webを開いておき、日々の実務や実践において、わからないことや悩んでいることの参考にさせて頂いています。

第2部の末富先生の講演は、子どもの貧困と向き合う学校の役割についての内容でした。誰もがいつでも、希望する質の高い教育を受けられる社会の実現に向けた取り組みについて、いろいろとお話を聞き、学校に戻ったときに自分にできることは何かと考えるきっかけと

なりました。子どもの貧困について学んだことを先生方にも環流すること、また就学援助制度について、保護者、教職員の方々にさらに知ってもらえるよう、わかりやすく情報を発信していこうと思います。

現在、学校事務職員として採用され、3年目になりました。ふらのフォーラムや他の研修会に参加させて頂くと、普段一人で働いているだけでは気付かないことや新しい発見があります。ただ参加して終わりではなく、少しでも自分の学校にも還元できるようにしていきたいと思っています。

「2015ふらのフォーラム in さっぽろ」に参加して
富良野小学校 小林 篤史

今年は初めての札幌開催で、30度近い暑さの中、全国各地から約80名がホテルユニオンに集まりました。午前中は中央ブロックのレポート発表、午後から日本大学文理学部准教授・末富先生の講演とパネルディスカッションが行われました。

中央ブロックの発表では、「学校づくり」を具現化していくための「教育環境整備」の推進、そのベースには学校間連携があることを、具体的な実践を紹介しながら発信していました。聞いていた私たちが、明日から自分も頑張ろう！と自然と元気になれる、そして、上川は学校間連携をやっています！と胸を張れる、とても素晴らしい発表でした。

午後からの末富先生の講演は、子どもの貧困についてでした。2013年から急激に子どもの貧困が進み、まだまだ経済的支援が充実していない現状を知りました。諸外国に比べ、公費よりも私費の割合が多く、もっと教育にお金をかけなければ貧困解決にはならないと強く実感することができました。

資料で見たデンマークの小学校は、外観はまるで『蔦屋書店』のようで、これが学校か！と驚きました。しかし就学援助率が68%と聞いてさらに驚き、貧困に左右されない教育環境が必要だなと感じました。

また、貧困対策のために学校事務職員ができることとして、まだまだ保護者に就学援助制度が届いていない、積極的な発信と手続きサポートが必要という言葉が

深く印象に残った講演でした。

パネルディスカッションでは、全道協議会の常陸会長が司会で、中央ブロックの発表者の、坂田さん・藤井さん・紙谷さんと、名達さん・久保さん（南幌小）・末富先生とのディスカッションでした。

末富先生が中央ブロックの発表を聞いていなかったこともあり、多少かみ合っていない部分もありましたが、末富先生から、修学旅行の保護者負担を真剣に考えてみては？教員は貧困に対して無知では？という部分は今後考える部分だなと、考えさせられました。

毎年、末富先生や尾崎先生のお話を聞ける貴重な機会として勉強になっているふらのフォーラムが、今年は中央ブロックのレポート発表でより充実したフォーラムとなっていました。

レポート発表された、坂田さん・藤井さん・紙谷さん、本当にお疲れ様でした。

私個人は、真夏日の中、昼食のスープカレーでさらに汗だくになり、夜は札幌の夜を堪能しました。遊んでばかりかな？と思われてしまいますが、安心してください。次の日ちゃんとミッション研修に参加しています。

神田さん、そして小林さん、ありがとうございました。

また、中央ブロックよりレポート発表されました、鷹栖小坂田さん、当麻小藤井さん、東川第二小紙谷さんにおかれましては、隙の無い立派な発表お疲れ様でした！



次回は北海道公立小中学校事務研究大会について、当日の様子などをご紹介します！

「きずな 冊子版」原稿大募集!!!

早くも冊子版原稿募集のお知らせです！

日頃の皆さんの思う事や身の回りの出来事、

ご紹介お願いいたしたく、ご案内いたします！

内容は自由です！

A4一枚「程度」(自由にお願ひします)

一太郎、Word、手書きなど・・・字数なんて、

なにそれ？おいしいの？的扱ひでOKです！

Artな表現、思いの丈、表現は人それぞれ、その自由を

皆様で出し合ひ、皆様で楽しみたいと思います。

締め切りは冬休み明け！

宛先は、比布中学校 我妻 誠 までお願ひします。

e-mail the.haguki@gmail.com

〒078-0322 比布町北2線8号 比布中学校

Fax 0166-85-2149

よろしくお願ひいたします!!!!!!!!!!!!!!



レンケイジャー!® 富良野小 小林さん作